

いろいろなハチの巣

取り除くなら小さいうちに



キイロスズメバチの巣（直径約30cm）

発生時期												
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
発生												
多い												

発生 多い

ハチは種類によって巣の形が決まっており、巣を見れば何のハチか見当がつきます。巣は一年限りで放棄され、翌年、同じ巣を再び使うことはありません。

スズメバチ類の巣

大きなボール状の巣を作ります。大きいものは直径が50cm以上にもなり、千匹以上のハチが集団で生活しています。巣は軒下や木の枝が多く、種類によっては土の中にも作ります。5月頃の初期の巣は小型で、写真のようにトックリを逆にしたような形をしています。

初期の小型の巣以外は、一般の人が取り除くのは危険です。駆除の専門家に相談してください。

アシナガバチ類の巣

ハスの実のような形で、たくさんの巣穴が見えます。軒下や壁、木の枝、草むらなどさまざまな場所に営巣し、ほとんどは直径が10cm以下です。不用意に近づいたり刺激したりしなければ、普通はハチが攻撃してくることはありません。巣を取り除く場合、ハチの数が多いときは専門家に相談の方が安全です。

泥で作った巣

スズバチは、外壁や軒の内側などに泥の塊のような巣を作ります。初めて見るとびっくりしますが、ハチを驚かさないうかぎり危険はありません。



コガタスズメバチの巣（巣の内部を示す）



コガタスズメバチの初期の巣*（トックリ状）



コアシナガバチの巣



アシナガバチの初期の巣（キアシナガバチ）



泥で作られた巣（スズバチ）

ハチは害虫駆除に活躍している益虫でもあります。人への危険のない場所なら、なるべくそっとしておきましょう。

問い合わせ先

(* 豊島区 矢口昇氏 撮影)